

25年度実績に対する委員の主な意見

<事例発表・研究会>

- 市町村向け研究会では、実証段階ではなく、実施レベルのものを事例研究して普及させることが大切ではないか。
- 生活目線で身近なもの、小規模で順調に回っているものを取り上げて、事例研究することが重要ではないか。

<普及啓発>

- バイオマス利活用の啓発は、経済の循環面からPRすることがポイントではないか。
- バイオマスの環が国内、できれば府内で繋がるっているものに対して、府が登録制度を設けてPRしてはどうか。

<廃食用油の利用促進>

- 事業として成り立つためには、回収コストの低減が課題。BDFで走るコミュニティバスを活用して移動マーケットや廃食油回収を行う仕組みを実現できたら面白い。

<下水汚泥肥料の利用促進>

- 最近は貸農園をやっている人が多いので、来る人を対象に野菜の作り方のセミナーを開催して、併せて製品紹介を行って使っていただいたら良いと考える。

<木質ペレット等の利用促進>

- ペレットストーブ等は府が率先してどんどん進めてほしい。府の施設でもっと導入を図るべきではないか。
- ペレットストーブ等の普及に当たっては本体の安さも大事だが、見た目のスマートさを意識した製品作りが行われるとより導入が進むと考える。国産ストーブひいては国産ペレットが売れるためにはこういうことも考慮してはどうか。

<竹の利活用>

- 竹ペレットはペレットストーブの燃料として半分程度まで混合して使用できることは分かっている。府でもっと研究してはどうか。
- 竹の利活用については各種効果が言われているが科学的なデータがない。府の試験研究機関で行っている研究では、竹の抗菌性をしっかり調べてほしい。
- 府南部では侵入竹林が尾根にまで達しており深刻な状況にある。竹が生物多様性を阻害しているが全くデータがないので調査すべき。
- 浄水場で使用する活性炭を100%輸入のヤシガラから竹に換えてはどうか。
- 竹の利活用については身内で検討してもアイデアが湧かなく堂々巡りな状態。産業支援関係団体とかと連携したら新しいアイデアが出てこないかなと考えている。もっと情報交換できる場を設定して企業にヒントを与えてはどうか。

(H26.4.2～H26.4.8意見聴取)